

## まちづくりオープンミーティング意見概要（6/27氷丘公民館）

園庭の狭い幼稚園に通う子どもたちを日岡山などの敷地の広い公園に連れて行けるようなバスを運行してほしい。
高齢化などにより民生委員のなり手が不足し困っている。
チャレンジクラブのボランティアとして囲碁を子どもたちに教える活動している。将棋は広く行われているが、囲碁が広がっていない。市からも活動の紹介を行ってほしい。
高齢者の車の事故について、運転免許証を返納してしまうとタクシー以外に交通手段がなく、駅や病院、買い物にも行けない。運転免許証の返納が死亡事故の減少のために必要であることは理解している。代替の交通手段として、台数が少なくても、高くてもよいので公共交通を走らせてほしい。
V-ALEARTをはじめとした災害・避難情報等を発信するための取り組みが行われているようだが、詳細について教えてほしい。また、屋外拡声器の整備は進んでいるのか。
高齢者や障がい者などの避難時に特別な対応を要する方に対する支援体制として、専門知識を持つ方の助言を得ながら、行政と地域で支援できるようにしたい。
協働のまちづくり市民会議×熟議の開催について、来年度は一般の方でも参加できるような枠を設けてほしい。
就業支援事業について、障がい者が社会で活躍できるように支援するためのものだが、運営費の負担が大きい。市が主となり運営できないか。
児童クラブ支援員が不足し、児童の見守りが十分に出来ていないため、人員を増やしてほしい。
子ども達の安全のため、登下校時の交通指導員を減らさないでほしい。
災害に向けた施策として、ハード面の整備が進んでいることは認識しているが、いざというときには地域で助け合うことが大切。住民同士のつながりが強固なものになるようソフト面の強化もお願いしたい。